

こどものはったつ相談室



子どもたちの健やかな発達や実りある学習に繋がるよう、
通級指導教室「まなびの教室」^{なつめてつや}夏目徹也先生によるコラムを
連載しています。



問合先 こども相談センター

TEL 6 2 6 - 1 1 6 5 FAX 6 2 6 - 2 1 8 7

第3回テーマ「ワーキングメモリ」

■どんな力？

「ワーキングメモリ」は、見たり聞いたりしたことを単に記憶するだけでなく、その情報を自分の過去のデータと照らし合わせて、よりよい言動を探索することです。ワーキングメモリは、生活、学習などに深く関わってくるので、最近耳にする機会が増えてきています。

うまく育っていないと

- 会話がぎこちなくなり、コミュニケーションがうまくとれない。
- 日常生活で忘れることが多く、困ることが増える。
- 学習内容が理解しにくく、学習意欲が低下する。

うまく育つと

- 会話がスムーズにでき、コミュニケーションが良好になる。
- 生活全般でやることがわかり、手際よく活動できる。
- 学習内容が理解でき、学習意欲が向上する。

■生活の中で育てる

家族での会話や伝言ゲームを楽しむ

言葉での会話は、ワーキングメモリを育てる一番有効なことです。子どもは家族と話をするのが好きです。会話をする時は、相手の言っていることをわかろうとしますから一生懸命に覚えようとします。毎日、会話をすれば楽しく育てることができます。

トランプやウノなどのカード遊び

トランプやカード遊びは、神経衰弱など数字や札を覚えておかなければならないものがあります。トランプだけでもいろいろな種類があるので、好みのカードを探して遊ぶといいですね。

今は生活の中でいろいろな音が飛び交っています。その中で自分の必要な言葉や音を聞き分け、理解できるようにしていかなければなりませんね。

■通級指導教室の教材

ワーキングメモリを育てるために、通級指導教室で行っている教材を紹介します。是非参考にしてください。

スリーヒントかるた

例えば、花屋さんの絵が4枚あります。「赤いエプロンをしています。」「はさみを持っています。」「帽子をかぶっています。」と3つのヒントを聞いて、正しい花屋さんの絵を見つけます。ヒントを覚えていないと、見つけることができないので、一生懸命に覚えます。



きくきくドリル

指導者の話を聞いたり、CDから流れる話を聞いたりして、答えを言ったり書いたりします。多様なパターンがあるので、子どもの様子によって使い分けることができます。

